

車載冷凍冷蔵庫：125L 取扱説明書



冷凍庫・製氷機・冷凍/冷蔵ストッカーレンタル専門店

笑顔のボタンタッチ
上州物産株式会社

〒379-2166

群馬県前橋市野中町369-2

TEL：027-289-6080

FAX：027-289-6166

冷凍庫・製氷機・冷凍/冷蔵ストッカー専門店ホームページへ
アクセスする場合はこちらのQRコードを読み込んでください。



目次

メーカー取扱説明書

返却時の梱包方法

梱包時 PP バンドの使用方法

故障に関する注意点

【注意点1】

こちらの商品は、運送中に横積みされた可能性があります。商品を設置してから2時間以上経過した後にコンセントをさしてください。

2時間以内にコンセントをいれるとコンプレッサーが故障します。

【注意点2】

電源を入れた後に、電源プラグを抜いて再び差し込む時には抜いてから10分以上、間をおいてください。すぐに差し込むとコンプレッサーに負担がかかり故障の原因となります。



取扱説明書

REMACOOL REMACOM 車載用冷凍・冷蔵ストッカー レマク〜ル



冷凍冷蔵切替式・2枚扉

車載用冷凍・冷蔵庫

型番：RPT-80RFD/100RFD/125RFD

保証内容書添付

このたびは、レマコム 車載用冷凍・冷蔵庫をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本書をご使用前に必ずお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

また、お読みになった後は大切に保管してください。

目次

■ご使用になる前に

- 01. 安全上のご注意 2P
- 02. 各部名称と付属品 4P
- 03. 製品仕様 5P
- 04. 設置と接続方法 6-7P
- 05. 機能と操作説明 8-13P
- 06. 食品を入れる際の注意点 14P





■ご愛顧いただくために

- 07. 故障かなと思ったら 15P
- 08. お手入れとメンテナンス 16P
- 09. ヒューズ交換の仕方 17P
- 10. 霜取り 17P
- 11. 保証内容書 18P

01. 安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

◆間違った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告 ：取扱いを誤った場合、「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	マークの意味	
 注意 ：取扱いを誤った場合、「傷害や、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。		してはいけない禁止内容です。
		実行しなければならない内容です。

警告（火災や感電のおそれ）

使用時に、次の事をしない

- 絶対に分解したり、修理、改造を行わない。
- 本体を水につけたり、本体に水をかけたり、水洗いはしない。
- 電源コードやプラグが破損するような事はしない。傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない。
- 濡れている手で電源プラグを触らない。
- 引火しやすいものを入れたり、火気のあるもののそばで使用しない。
- 付属の AC100V のコンセント、DC12/24V 以外では、使用しない。
- コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩い時は使用しない。
- 吸気口、排気口の間隙に異物を入れたり、塞いだりしない。
- 可燃性スプレーの近くで使用しない。
- コンセントは単独で使用し、たこ足配線をしない。
- 電源プラグの金属部分に触らない。
- 子供だけで使用しない。

使用時に、次の事を守る

- 異常、故障時には直ちに使用中止する。
- 車載用電源（DC）で使用中は、エンジンを止める前に電源を切り、電源プラグを抜く。
- 製品を稼働する際は、ヒューズが取り付けられた状態で使用し、製品が保護された状態で使用する。
- お手入れの際は、必ず電源プラグを抜いて行う。
- 使用する際は必ず換気をする。また空気循環や排熱のため、背面：200mm、側面：100mm 以上のスペースを必ず空ける。

注意 (火傷、怪我、事故などのおそれ)

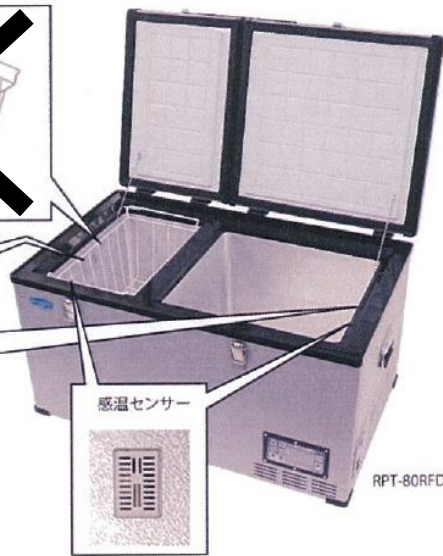
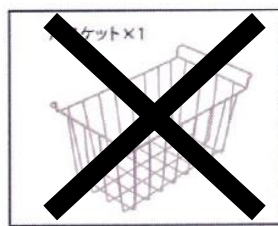
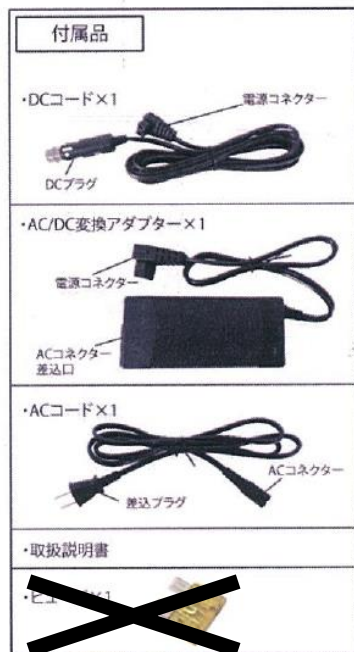
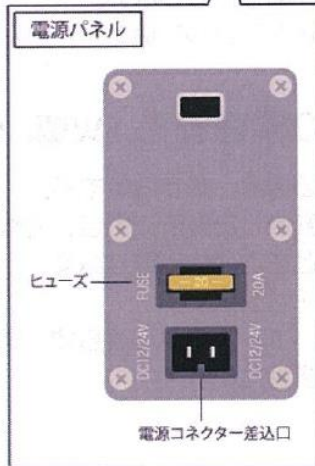
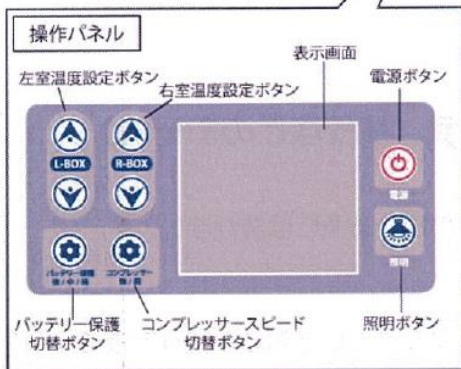
使用時に、次の事をしない

- 薬品や学術資料を入れない。(厳しい温度管理が必要なものは保存できません)
- 火気に近づけない。
- 庫内に生き物、ペットを入れない。
- 直射日光の当たる場所や熱源の近くなどの高温になる場所で使用しない。
- 貯蔵物を詰め過ぎない。
- 蓋を開けた状態で、製品の縁に手や指をかけない。
- 水のかかる場所や湿気の多い場所に置かない。
- 庫内に水や氷、ドライアイスを直接入れない。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたり、庫内をキズつけたりしない。
- 上に乗ったり、重い物を載せたりしない。
- ビン類など割れやすい物を冷凍しない。

使用時に、次の事を守る (火傷、怪我、事故などのおそれ)

- 車内、船上等で使用する場合、必ず固定する。
- 本製品は湿気の少ない乾燥した場所に置き、雨や水のかかる所には置かない。
- 電源プラグのホコリなどを定期的に取り除く。
- 使用時以外は、電源コードを抜く。
- 電源プラグを抜く際は、コードを引っ張らず、電源プラグの絶縁部分を持って抜く。
- 腐食性物質は保管できません。

02. 各部名称と付属品



03. 製品仕様



型番	RPT-80RFD
容量	80L (冷凍：47L、冷蔵：33L)
本体外形寸法	W875×D510×H508mm
電源	AC100V DC12V / 24V
設定温度範囲	-20℃～10℃
消費電力	85W
重量	28kg
DCコード	3.45m
AC電源ケーブル	2.1m(アダプター含む)



型番	RPT-100RFD
容量	100L (冷凍：57L、冷蔵：43L)
本体外形寸法	W875×D510×H585mm
電源	AC100V DC12V / 24V
設定温度範囲	-20℃～10℃
消費電力	85W
重量	32kg
DCコード	3.45m
AC電源ケーブル	2.1m(アダプター含む)

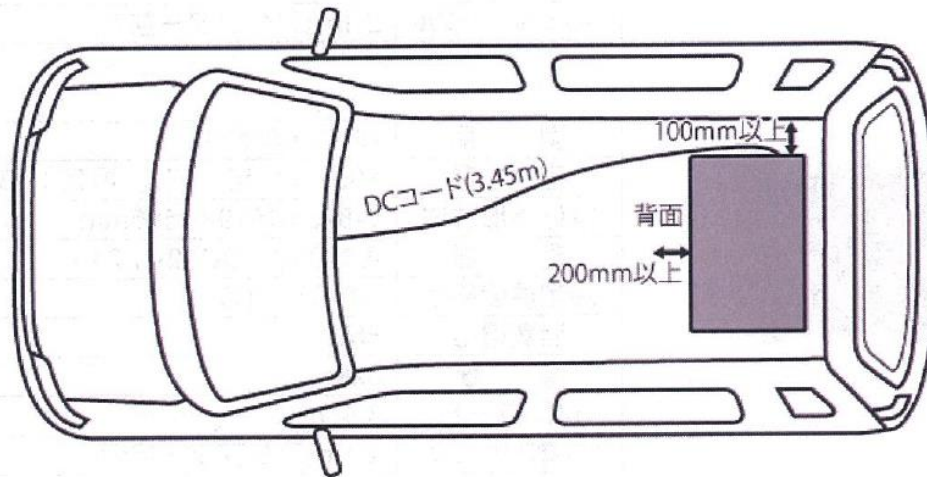


型番	RPT-125RFD
容量	125L (冷凍：73L、冷蔵：52L)
本体外形寸法	W875×D519×H653mm
電源	AC100V DC12V / 24V
設定温度範囲	-20℃～10℃
消費電力	85W
重量	35kg
DCコード	3.45m
AC電源ケーブル	2.1m(アダプター含む)

04. 設置と接続方法

■ 自動車（DC12V/24V）での設置

- ① 使用する際は必ず換気をし、通気・排熱のため、背面は 200mm 以上、側面は 100mm 以上のスペースを空けて本体を設置してください。
- ② DC コードの電源コネクタを本体側面の電源コネクタ差込口に差し込みます。
- ③ DC コードの DC プラグを自動車のシガーソケットに差し込みます。

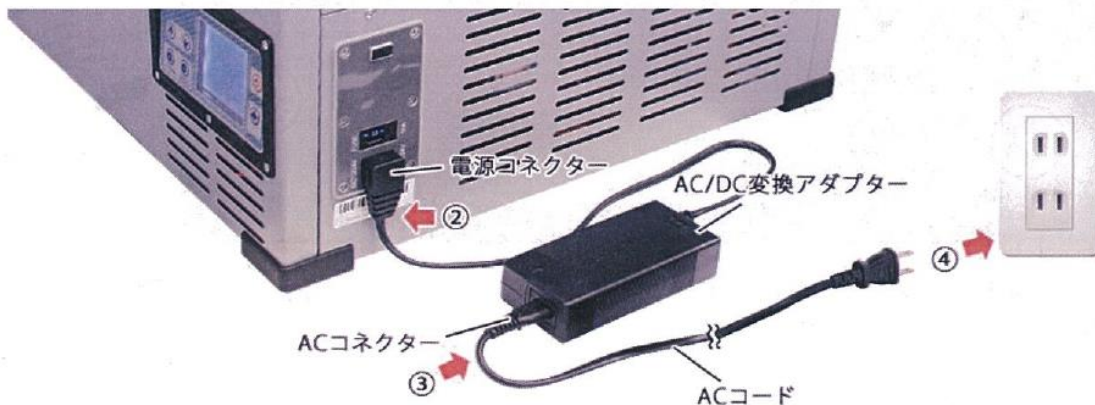


⚠ 注意（火傷、怪我、事故などのおそれ）

- ※ 直射日光にあたる場所や窓を閉め切った車内等、周囲温度の高い場所に置かないでください。変色や変形、故障の原因になります。
- ※ 換気・排熱のために背面：200mm、側面：100mm 以上のスペースを空けて設置してください。通気が不十分の場合、製品が発熱し、火災・故障の原因となります。
- ※ 運転中・運転停止直後は DC プラグが熱くなります。特に先端部分は熱くなりますので、触れないようにしてください。
- ※ 傾斜面や、水平でない面、シートの上などの不安定な場所に設置しないでください。衝撃などで本機が転倒、落下すると、けがの原因になることがあります。

■ 家庭（AC100V）での設置

- ① 使用する際は必ず換気をし、通気・排熱のため、背面は 200mm 以上、側面は 100mm 以上のスペースを空けて本体を設置してください。
- ② 本体側面の電源コネクタース差込口に、AC/DC 変換アダプターの電源コネクタを差し込みます。
- ③ AC/DC 変換アダプターの AC コネクタース差込口に、AC コードの AC コネクタを差し込みます。
- ④ AC コードの差込プラグを家庭用コンセント（AC100V）に差し込みます。

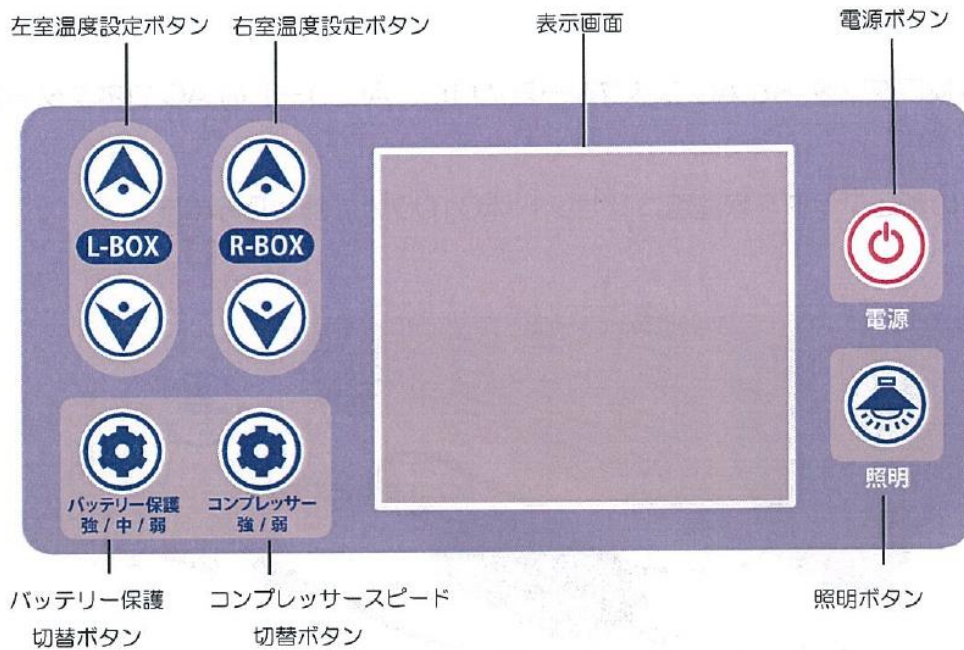


⚠ 注意（火傷、怪我、事故などのおそれ）


- ※ 直射日光にあたる場所や、周囲温度の高い場所に置かないでください。変色や変形、故障の原因になります。
- ※ 暖房器具やガス器具の近くで使用しないでください。冷却性能が低下したり、ガス漏れ時には引火して火災の原因になります。
- ※ 換気・排熱のために背面：200mm、側面：100mm 以上のスペースを空けて設置してください。通気が不十分の場合、製品が発熱し、火災・故障の原因となります。
- ※ 傾斜面や、水平でない面、シートの上などの不安定な場所に設置しないでください。衝撃などで本機が転倒、落下すると、けがの原因になることがあります。

05. 機能と操作説明

■ 操作パネルについて



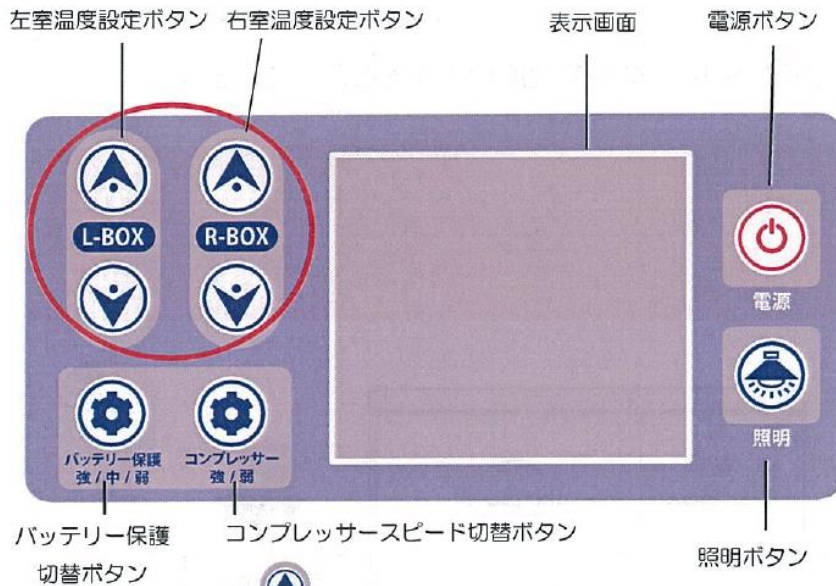
■ 電源について



電源ボタン  を3秒ほど長押しすると、電源が入ります。
表示画面が点灯し作動します。
再度、電源スイッチを3秒ほど長押しすると、電源が切れます。

注意 (火傷、怪我、事故などのおそれ)

一度電源を切り、すぐに電源を入れてご使用になるとコンプレッサーの故障の原因となります。3分ほどお待ちいただいてから再度電源を入れて使用してください。

■ 温度を設定する



左室温度調節ボタン  で 左室(L-BOX)の温度を設定し、右室温度調節ボタン  で右室(R-BOX)の温度を設定します。

5秒ほど操作をしないと設定完了となります。

(※設定中の温度は表示画面に点滅表示され、その後庫内温度に変わります。)

- 設定温度範囲：-20℃～10℃

※冷凍保存品以外を保冷する際は、設定温度の下げ過ぎに注意してください。

左室 (L-Box)	右室 (R-Box)	注意事項
冷凍	冷凍	※ 左室の温度を右室の温度設定よりも低くすることはできません。 もし左室の設定温度を右室の設定温度より低くした場合、左室の温度が右室と同じ温度まで上がります。(設定温度も右室と同じ温度に自動的に変わります)
冷蔵	冷凍	
冷蔵	冷蔵	
非冷	冷凍	
非冷	冷蔵	

庫内温度帯と適した食品

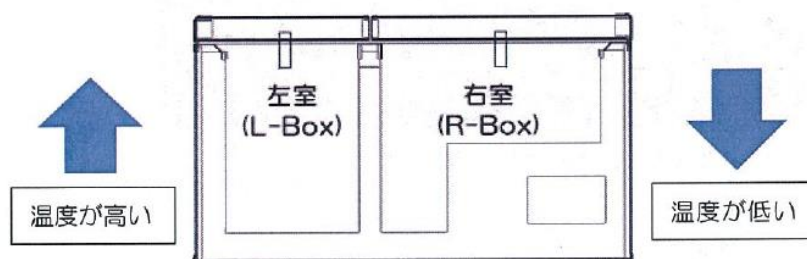
	温度帯	適した食品
冷蔵	約 3℃	一般的なお惣菜、豆腐、卵、飲料など
チルド	約 0℃	チーズ、ヨーグルト、ハム、ソーセージ、肉、魚など
冷凍	約 -18℃	肉、魚、冷凍食品、アイスクリームなど
野菜	約 6℃	野菜、果物など

■ 二室別々に温度を設定する

1. 左室、右室をそれぞれ-20℃～10℃の間で温度設定することができます。

※ 左室の温度を右室の温度設定よりも低くすることはできません。

もし左室の設定温度を右室の設定温度より低くした場合、左室の温度が右室と同じ温度まで上がります。(設定温度も右室と同じ温度に自動的に変わります)



※左室の温度を右室の温度よりも低くすることはできません。

例：×左室 (L-Box)：-20℃ 右室 (R-Box)：5℃

○左室 (L-Box)：5℃ 右室 (R-Box)：-20℃

2. 先に、右室の温度を設定します。次に左室の温度を設定する時、右室の設定温度よりも高い温度（もしくは同じ温度）で設定します。





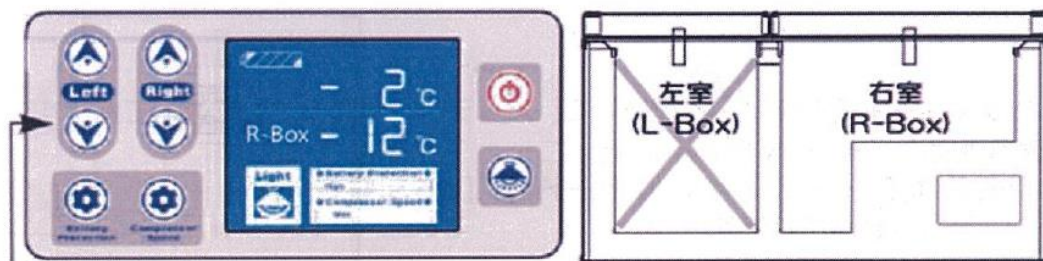
■ 用途に合わせて二室の温度を設定

- 左右どちらも冷凍 (例：左室：-18℃ 右室：-20℃)
- 左室を冷蔵、右室をチルド (例：左室：3℃ 右室：0℃)
- 左室を冷蔵、右室を冷凍 (例：左室：3℃ 右室：-18℃)
- 左室の電源を切って、右室のみ使用 (P.11「一室 (右室) のみを作動させる」参照)

■ 一室（右室）のみを作動させる

必要に応じて、左室を停止し、右室のみ動作させることができます。（※右室を停止し、左室のみ動作させることはできません）

1. 左室温度設定ボタン  の  を 3 秒ほど長押しします。表示画面の「L-Box」が消え、左室のみ電源が切れます。（すでに左室が冷却され、コンプレッサーが止まった状態の場合は「L-Box」の表示は消えています）



3秒長押し


左室を冷却起動している時（コンプレッサー起動中）は、表示画面に「L-Box」が表示されます。冷却が停止すると「L-Box」の表示は消えます。

同様に、右室を冷却起動している時（コンプレッサー起動中）は、表示画面に「R-Box」が表示されます。冷却が停止すると「R-Box」の表示は消えます。

※ 冷却が終わって（コンプレッサー停止）、L-Box の表示が消えている場合と左室自体の動作を停止して、L-Box の表示が消えている場合がありますので、ご注意ください。


再び温度設定ボタンの  を 3 秒ほど長押しすると、左室を再起動することができます。

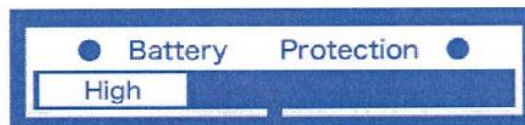
■ 照明について

照明ボタンを押すと庫内灯がつき、表示画面に[Light]マークが表示されます。再び押すと、消灯します。
 または照明ボタン押さなくても、しばらくすると自動で消灯します。
 庫内灯点灯時は表示画面に[Light]マークが表示されています。



■ バッテリー保護

- バッテリー保護ボタンを押して、バッテリー保護モードを選択できます。
 表示画面の「Battery Protection」に
 [High(強モード)]、[Med(中モード)]、[Low(弱モード)]
 が切替わり表示されます。



※自動車（DC12V/24V）でご利用される場合は
 バッテリー保護を「High(強モード)」でご使用ください。

車両バッテリー保護の電圧範囲：

給電	車両バッテリー保護の状態	強モード (High)	中モード (Med)	弱モード (Low)
DC 12V	運転停止電圧	11.7±0.3V	10.7±0.3V	10.2±0.3V
	運転再開電圧	12.7±0.3V	11.7±0.3V	11.2±0.3V
DC 24V	運転停止電圧	24.6±0.3V	22.6±0.3V	21.6±0.3V
	運転再開電圧	26.0±0.3V	24.0±0.3V	23.0±0.3V

注：上記の電圧はコンプレッサー電源入力端の電圧で、電池出力端の電圧ではありません。

- 車両バッテリー電圧が設定値に低下した時、表示画面に「E1」と表示され、コンプレッサーの動作が停止し、過放電から車両バッテリーを保護します。
 その場合、バッテリー保護モードを「Med(中モード)」または「Low(弱モード)」に下げると作動が再開されますが、バッテリー消費のため、車のエンジンが停止したり始動し

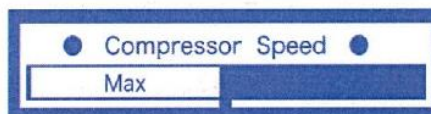
なくなるおそれがあります。

車両バッテリーの電圧が再起動値に達するまで充電されると、コンプレッサーはすぐに起動します。

※表示画面に「E1」と表示された場合は、車のバッテリーの点検・交換をお勧めします。

※アイドリング時や渋滞時はバッテリー負荷を軽減することをお勧めします。

- コンプレッサー速度ボタン  を押して、コンプレッサーの回転速度を「強(Max)」と「弱(Eco)」に切替できます。表示画面に回転速度が表示されます。



Max (強) : 3000rpm

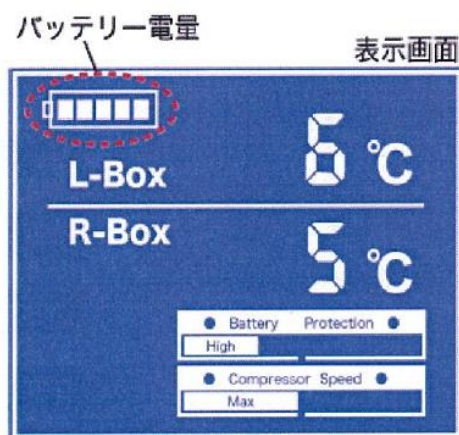
Eco より速いスピードで庫内を冷却します。


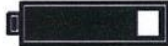




Eco (弱) : 2000rpm

Max より消費電力を抑えて作動します。

■ バッテリー電量表示

- バッテリー電量が表示画面の左上部に表示されます。



表示	バッテリーレベル
	10.7V
	11.2V
	11.7V
	12.2V
	12.7V
	13.2V

06. 食品を入れる際の注意点

- ガラス容器や密閉された容器を入れないでください。凍結時に中身が膨張し、破裂の危険があります。
- 予め冷やしてから入れてください。庫内も貯蔵物も予め冷やしてから入れてください。
- 食品の入れすぎは保冷機能を低下させます。適当に隙間を空けて入れてください。
- お米など水に濡れて困るものはポリ袋などに入れてください。
- 肉や野菜等の食材はポリ袋やラップ等で小分けして入れてください。直接入れたり、長時間入れたままにした場合、食材の水分がなくなったり、冷凍焼けする可能性があります。
ポリ袋などに入れることでのおい移りや湿気も防ぎます。
- 水気や汚れを取ってから入れてください。
- 使用しない場合は長時間電源を入れたままの状態では放置しないでください。
- 貯蔵できないもの
 - ・医薬品や検査資料
 - ・タッパーに入れた漬物
 - ・ドライアイス
 - ・引火しやすいもの

07. 故障かなと思ったら

症状	原因	対策
製品が動作しない	運転を開始していない	電源ボタンを3秒ほど長押しして運転を開始してください。
	コネクター類がきちんと差し込まれていない	差込口に確実に差し込んでください。
	プラグ類がきちんとさしこまれていない	プラグ類を確実に差し込んでください。
	ヒューズが切れている	ヒューズを交換してください。(P.17 参照)
	自動車のエンジンがかかっていない	エンジンをかけてから運転してください。
食品が凍っている	設定温度が低すぎる	温度調節ボタンで温度を調節してください。
冷えない	食品の入れすぎ	庫内冷氣循環が悪くなっている可能性があります。詰め込みすぎないようにしてください。
	扉が開いている・フックが外れている	扉・フックを確実にしめてください。
	ドアパッキングが損傷・変形している	ドアパッキングを交換してください。
	換気・排熱がよくない	背面は200mm以上、側面は100mm以上のスペースを空けてください。
	熱い食品が入っている	冷ましてから入れてください。
	直射日光にあたっているか熱源の近くに置いている	直射日光のあたらない、熱源から離れた場所に置いてください。
	設定温度が高い	温度調節ボタンで温度を調節してください。
水の流れるような音が聞こえる	コンプレッサー作動中の冷媒の活動音です。	正常に稼働しています。異常ではありません。
異音がる	製品が正しく設置されていない	水平でない場所に設置しないでください。
	製品が壁や他のアイテムに接触している	換気・排熱のために吸気口、排気口の隙間を200mm以上のスペースを空けて設置してください。
	製品の中に緩んでいる部品や落ちている部品がある	事故防止のため使用を中止し、電源を落とし、コンセント類を抜いてお買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
外側・扉に水滴がつく	外気との温度差により結露している	乾いたタオルでふき取ってください。
起動時にコンプレッサーの音響がわずかに大きくなる	コンプレッサーの起動直後は、音が少し大きく、コンプレッサーの運転が安定すると音が小さくなっていきます。	正常に稼働しています。異常ではありません

08. お手入れとメンテナンス

■ お手入れ方法

お手入れ前に、電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。
製品の外側と内側は、柔らかい布に水を含ませ、きつく絞ってから拭いてください。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めて使い、その後ぬるま湯を含ませた布をよく絞って拭いてください。

■ プラスチック部品のメンテナンス

ドアパッキングを適切に保護するため、こまめにプラスチック部品を清掃してください。
使用時の強い衝突を避けるようにしてください。
油（動物性または植物性油）が長期間プラスチック部品に付着すると、プラスチックが老化し割れやすくなり、さらに臭いがします。
ドアパッキングが損傷・変形した場合は、ドアパッキングの交換をしてください。

■ 長期間使用しない時

- ① プラグをコンセント/シガーソケットから抜いてください。
- ② 庫内を清掃し、扉を開けて庫内を乾燥させます。
- ③ 乾燥後は扉を閉め、高温多湿・直射日光を避けて、お子様の手の届かない所に保管してください。

⚠ 注意 (火傷、怪我、事故などのおそれ)

漏電防止、絶縁性の低下、板金部品の錆を防ぐために、製品を直接水で洗うことはしないでください。

次のようなものはコーティングやプラスチック部品を痛めたり、変色させたりする場合がありますので使わないでください。

・アルカリ性洗剤 ・石鹸 ・研磨粉 ・お湯 ・ブラシ ・ガソリン ・アルコール

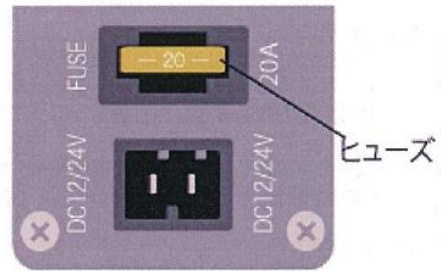
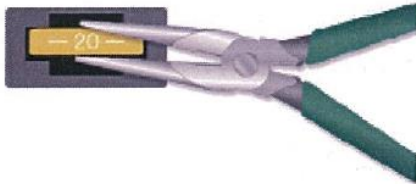
※ 廃棄する場合

こちらの製品は特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）の適用製品ではありません。廃棄する場合は専門の産業廃棄物業者に委託し、適切に処分してください。廃棄については各自治体によって異なるため、所在地の各自治体窓口にご確認をお願い致します。

09. ヒューズ交換

本体側面の電源パネルにあるヒューズを引き抜いて、新しいヒューズと差し替えてください。

(※ヒューズが抜きにくい場合はラジオペンチなどの市販の工具を使って引き抜いてください。)



10. 霜取り

製品の庫内に霜がつくことがあります。これにより冷却能力が低下します。製品の霜取りをしてください。

霜取りの手順は次の通りです。

- ① 保存されている食品等を製品から取り出します。
必要に応じて、保管されている食品等を別の冷蔵庫、冷凍庫に移動してください。
- ② 電源を切り、電源プラグを抜き、蓋を開け、氷と霜が溶けるまで置いておいてください。
- ③ 清潔な布で溶けた水を拭き取ってください。

⚠ 注意 (火傷、怪我、事故などのおそれ)

アイスピックやドライバーなど固くとがったものを使用して霜取りをしないでください。庫内が傷ついたり破損の恐れがあります。

保証内容書




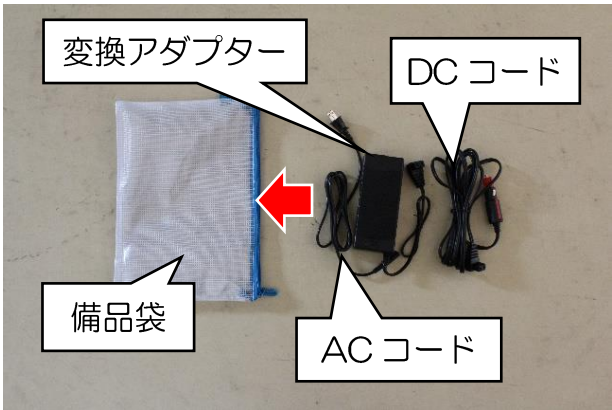
このたびはレマコムの商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
お買い上げいただきました製品につきまして、本保証内容により保証させていただきます。

- 保証番号について
各製品には、製造メーカーの保証番号がついています。例：FRS1234567、12HB7345-678、1234567-12等
製品発送のお知らせと共に保証番号をあわせてお知らせいたしております。
機械本体の製造番号が保証番号となっておりますので、製品の銘板でご確認いただくこともできます。
- 保証期間について（納品日の保証期間1年間）
保証開始日、保証終了日を定めるには、保証番号を当社へお伝えください。保証期間をお伝えいたします。
- 保証の内容
正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、製品の無料修理または交換をさせていただきます。
修理の場合は、製品をレマコム株式会社への持ち込み修理といたします。
修理、交換のいずれの保証方法をとるかは、レマコム株式会社の判断とします。
- 保証の範囲
保証は機器本体を対象とします。付属部品、バッキンなどの消耗品や機械本体以外に生じた損害及び機器の搬入・取り付け・取り外し・搬出・梱包にかかる費用等は、保証の対象ではありません。
- つぎのような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
 - ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - 納品後の取付場所の移動、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、塩害、地震、風水害、雷、煤煙、降灰、腐蝕性などの有毒ガス、ほこり、異常気象、異常電圧、異常電磁波、ねずみ、鳥、くも、ゴキブリ、昆虫等の侵入及びその他の天災、地変による故障及び損傷。
 - 水道管の錆などの異物の流入、給・配水管の詰まりにより生じた故障及び損傷。
 - 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障及び損傷。
 - 音、振動、塗装の退色、メッキの軽微な剥離、錆などの設計仕様範囲内の感覚的な減少の場合。
 - 工事説明書または取扱説明書などに明示する方法以外の工事設置または取付工事等が原因で生じた不具合、故障及び損傷。
 - 店舗閉鎖後の製品の長期運転休、保管及び所有者の変更の後に生じた故障及び損傷。
 - 保証番号のご提示がない場合。
 - 保証は日本国内でのみ有効です。
 - 製品をお買い上げいただいた場合の御購入金額を、保証修理費が上まわす限り、いちじるしく高額であるとレマコム株式会社が判断した場合は、御購入金額を返金する場合があります。その場合の御購入いただいた製品の廃棄もしくは移動に付随する諸費用はレマコム株式会社の保証外ですので、その費用についての責任は負えません。
 - 当社の認める代理店及び販売店以外からの御購入の場合は、その保証外とする。
 - 出張修理の場合、作業員が車両、船舶、航空機等の交通機関を使用し、または宿泊が必要がある場合にはその交通費、宿泊費および日当等はお客様のご負担となります。
- お客様へ
無料修理やアフターサービスなどについてご不明な場合は、レマコム株式会社までお問い合わせください。
保証番号の再発行はしませんので、大切に保管してください。紛失してしまった場合は、銘板に記載されている製造番号が保証番号ですので、ご自身で再確認して、大切に保管してください。
製品が故障及び環境不良により生じた食品材料の損害、または製品の故障による修理待ち間製品が使用できなかった事により生じた営業利益保証及び慰謝料請求は保証の対象ではありません。

住 所：静岡県三島市松本68-1
会社名：レマコム株式会社
TEL：055-984-3600
FAX：055-984-3601
E-mail: info@remacom.com
URL: http://www.remacom.com



返却時の梱包方法

1		<p>・庫内を空にしてください。 ※庫内の水滴は軽く拭き取ってください。</p>
2		<p>・PPバンドの上に、下箱を設置してください。</p>
3		<p>・箱の上にレンタル商品を置いてください。</p>
4		<p>・下記備品を備品袋に入れてください。</p> <ul style="list-style-type: none">● ACコード● DCコード● 変換アダプター

5



- ・取扱説明書と備品袋を隙間に入れてください。

6



- ・上箱をかぶせてください。

7



- ・PPバンドでとめてください。

※PPバンドのとめ方は取扱説明書の最終ページにある「梱包時PPバンドの使用法」をご確認ください。

8

▼返却用の伝票を指定の位置に貼り付けてください。
返却用伝票は弊社にてご用意させていただきます。
梱包の箱に貼り付けてあります。

お届け時の伝票の下にある赤い伝票が
返却用の伝票です。



梱包時 PP バンドの使用法

①



輪をつくる。

②



つくった輪をストッパーに通す。

③



1本の足を輪の中に折りたたむ。

④



バンドを矢印の方向に引っ張る。

⑤



荷物に回したもう片方のバンドも同様に通す。

⑥



ひもを両端に引っ張り、しっかり締める。